

津和野町スポーツ推進計画

平成28年3月

津和野町教育委員会

目 次

I	序説	
1	計画策定の趣旨	1
2	計画の位置づけ	1
3	計画期間	1
4	計画の目標	1
5	計画の検証	2
II	基本施策	
1	生涯スポーツ・運動の推進と学校体育の充実	
	（1）未就学児の運動あそびの推進	3
	（2）小学・中学・高校生のスポーツ・運動の推進	4
	（3）青年期・壮年期のスポーツ・運動の推進	6
	（4）高齢期のスポーツ・運動の推進	8
2	地域と連携したスポーツ活動の推進	
	（1）体育協会・スポーツ少年団等関係団体との連携	9
	（2）スポーツ指導者の養成と資質向上	12
	（3）障がい者スポーツの推進	13
3	スポーツ活動における施設の活用	
	（1）学校体育施設の活用	14
	（2）社会体育施設の活用	16
III	資料編	
	平成26年度 津和野町体育協会状況	17
	津和野町公共スポーツ施設設置状況	18
	津和野町公共スポーツ施設利用状況	19
	津和野町スポーツ推進計画策定委員会委員名簿	20
	津和野町スポーツ推進計画策定経過	21

I 序 説

1 計画策定の趣旨

津和野町では、平成24年3月に策定した「津和野町教育ビジョン」を基に、スポーツ・レクリエーションに関する施策を展開してきました。

一方で、国は平成23年に「スポーツ基本法」を制定し、スポーツに関する施策の基本となる事項を定めました。この法律の中で、「その地方の実情に即したスポーツの推進に関する計画を定めるよう努めるものとする」と規定されております。

そこで、津和野町においても「スポーツ基本法」を踏まえ、今後のスポーツを推進していく基本指針となる「津和野町スポーツ推進計画」を策定します。

2 計画の位置づけ

この計画は、「津和野町教育ビジョン」(平成24年～平成33年)のスポーツ・レクリエーションに関する部門計画として位置づけ、今後のスポーツ推進のために必要な具体的施策の推進計画とします。

3 計画期間

計画の期間は、平成28年度を初年度とし、平成32年度までの5か年とします。

4 計画の目標

(1) 青少年の健全育成

発達段階に応じたスポーツを楽しむ場を提供すると共に、未就学児の段階から運動あそびの機会を提供し、親子で運動に親しむことで、親と子の絆を深めます。また、学校や地域において、子どもへの指導や環境づくりを進めることで、青少年のスポーツ活動を推進し、健全な育成を図ります。

(2) 町民の体力向上・健康増進

子どもから高齢者までがスポーツに触れられる機会を増やし、体力向上及び健康増進を図ります。

(3) スポーツ活動による活性化

スポーツ少年団や体育連盟など各種スポーツ団体を支援・育成し、スポーツ活動を推進します。これにより、住民の連帯感や交流の輪を広げることに繋げ、活性化を図ります。

5 計画の検証

計画期間の最終年となる平成32年度に計画の進捗状況を検証し、見直しを行います。

Ⅱ 基本施策

1 生涯スポーツ・運動の推進と学校体育の充実

(1) 未就学児の運動あそびの推進

【現状】

共働きの増加や少子化の影響により、親子の触れ合いや子ども同士の関わり合いが減少し、家庭や地域における外遊び・集団遊びが減少しています。

一方、保育園においては、日ごろの活動で積極的に運動あそびを促したり、親学や津和野町スポーツ推進委員が行っている子どもの体力向上支援事業を活用するなど、未就学児への運動の必要性についての認識が高まっています。

【課題】

外遊びの減少により、昔は遊びの中で自然に身に付いていた走る・投げる・跳ぶといった基本的な運動能力が低下しています。何もないとこで転ぶ子や、少し走るとすぐ疲れてしまう子も見られます。また、集団遊びの不足から、人とのコミュニケーション能力の低下も考えられます。

運動をする子としない子の二極化が小学校低学年で既に見られるため、未就学児の段階から、年齢に応じた遊びの中で、様々な動きを経験させることが必要となってきます。そのためには、保育園の活動以外でも、親からの働きかけが大切になってきますが、十分に親子で遊ぶ時間がとれていないのが現状です。

こうした状況を改善するためにも、教育委員会と福祉部局とで課を越えた連携を強化し、保育園や保護者等へ働きかけていく必要があります。

【具体的な施策】

- ① スポーツ推進委員等地域のスポーツ指導者を保育園に派遣し、運動あそびを定期的に実施します。
- ② 親子で参加できるスポーツイベントを開催し、親子で触れ合いながら体を動かす場を提供します。
- ③ 親学等を活用し、保護者同士で運動あそびの重要性について話し合う機会を提供します。
- ④ 福祉部局と連携し、運動あそびについて、幅広く保護者や関係者に対して研修会を開催します。

(2) 小学・中学・高校生のスポーツ・運動の推進

【現状】

小学生について、島根県では、児童の体力向上にむけ、「一日一時間以上体を動かそう」と、提唱していますが、現状は、する児童としない児童の二極化が進んでいます。また、肥満傾向の子どももいます。野球・バスケットボール等、スポーツをしている子もいますが、その割合は少なく、多くは特定のスポーツをしていないのが現状です。

中学生について、学校体育の中では、スポーツ全領域を履修することが必修となっており、様々なスポーツを行う中で運動能力の向上につながっています。しかし、得意・不得意があるので、不得意競技においては、苦手意識から意欲的に取り組めない生徒もいます。津和野町は部活動において、基本的に全員入部ということもあり、多くの生徒が運動部活動に参加しており、運動能力向上につながっています。

高校生について、通学距離の問題や勉強等で多忙になることから、中学校まで運動部活動に加入していた生徒が、高校では運動部活動を選択しないなど、加入率の低下が見られます。

○平成27年度 津和野町内中学校・高校部活動状況（人）

部 活 動	日原中学校	津和野中学校	津和野高校
野 球	6	13	23
バレーボール	10	10	15
卓 球	28	13	14
ソフトテニス		13	20
陸上競技	37		18
弓 道			17
柔 道			3
合 唱		12	6
華 道		5	
吹 奏 楽			16
美 術			10
部活動加入数	81	66	142
内運動部加入数	81	49	110
運動部加入率	100%	70%	57.9%
全 校 生 徒	81	70	190

平成27年5月1日現在

【課題】

小学生については、近所に遊ぶ友達が少ない、遊びはテレビゲーム等が中心となっている、といった状況から、体を動かす機会が少なくなっていることが課題です。また、年々子どもが減っているため、スポーツ少年団の存続が難しくなっています。津和野町体育協会等が行っているスポーツ教室の情報が保護者に伝わっていないことから、いろんなスポーツに親しむ機会が減っていることも課題です。

中学生については、スポーツ少年団の競技が部活動にないものがあり、小学校からの継続した活動ができず、競技力の向上が図りにくいことがあります。また、子どもの減少に伴い、団体競技では人数の偏りがあつたり、合同チームでの大会出場をせざるを得ない状況となっています。

高校生については、部活動数が十分ではなく、スポーツ少年団等で行っていたサッカーやバスケットボールなどの競技を継続して選択できないことが課題です。

【具体的な施策】

- ① 子どもの体力向上支援事業を実施し、色々な運動に親しむことで、楽しんで運動することを促します。
- ② スポーツ少年団の活動を支援します。
- ③ スポーツ教室の情報を広報誌やケーブル・テロップを使って発信していきます。
- ④ スポーツ大会を開催し、参加しやすい体制づくりを進めます。
- ⑤ 運動部活動への外部指導者派遣事業など、地域にいる指導者の活用を推進します。
- ⑥ 中学校の運動部活動において、単独での活動が困難な場合には、合同チームでの活動参加を支援します。
- ⑦ 町内の小学校・中学校・高校で一貫してスポーツ活動できる体制づくりを検討します。

(3) 青年期・壮年期（18歳～64歳）のスポーツ・運動の推進

【現状】

以前は各地区・各連盟で行っていたスポーツ行事が、人口の減少や高齢化により減ってきています。

アンケート結果から、「日ごろスポーツ活動・運動を行う」の割合は低く、「スポーツ活動・運動を行う・見るのが好き」の割合は高くなっています。

「スポーツ活動・運動をする理由」で最も多かった回答は、男女共に「健康づくり」でした。また、「しない理由」で最も多かった回答は、男性は「仕事が忙しい」、女性は「仕事が忙しい」、「家事・育児が忙しい」でした。

青年期・壮年期は、「する」スポーツから「支える」スポーツへの転換期ですが、「スポーツ活動・運動に関するボランティアを行いたい」の割合は低いことが分かります。

○スポーツ活動・運動に関するアンケート結果

項目	10～20代・男性	10～20代・女性	30代・男性	30代・女性
日ごろスポーツ・運動を行う	42.9%	33.3%	37.5%	25%
スポーツ・運動を行うことが好き	71.4%	100%	62.5%	66.6%
スポーツを観ることが好き	85.7%	66.6%	75%	66.7%
スポーツ・運動をする理由	健康づくり ストレス解消	健康づくり	楽しい 技術向上	健康づくり
スポーツ・運動をしない理由	仕事が忙しい 好きではない	家事・育児 好きではない	きっかけがない	家事・育児
スポーツ・運動に関するボランティアを行いたい	14.3%	0%	37.5%	8.3%

項目	40代・男性	40代・女性	50代・男性	50代・女性
日ごろスポーツ・運動を行う	50%	16.6%	41.7%	30%
スポーツ・運動を行うことが好き	87.5%	50%	66.7%	60%
スポーツを観ることが好き	87.5%	50%	91.7%	85%
スポーツ・運動をする理由	健康づくり	健康づくり 楽しい	健康づくり 友人との交流	健康づくり
スポーツ・運動をしない理由	仕事が忙しい	きっかけがない	仕事が忙しい	仕事が忙しい 家事・育児
スポーツ・運動に関するボランティアを行いたい	0%	8.3%	33.3%	15%

注. スポーツ・運動をする・しない理由は最多回答を記載

【課題】

「日ごろスポーツ活動・運動を行う」の割合は低く、「スポーツ活動・運動を行う・観ることが好き」の割合は高いことから、スポーツ活動・運動に関心はあるが、活動できていないことが分かります。スポーツ活動・運動への参加を促す取り組みが必要です。

健康づくりのためスポーツ活動・運動はしたいが、仕事や家事・育児に時間をとられ、なかなかスポーツ活動・運動ができないことが課題です。

スポーツ活動・運動をするきっかけがないという回答も多かったため、地域で気軽に参加できるスポーツ活動・運動の実施と情報提供が必要です。

【具体的な施策】

- ① 地域や体育連盟のスポーツ行事や団体を広報等で紹介し、参加を促します。
- ② スポーツ教室等を開催し、若者の参加を促します。
- ③ 他の行事と併せて、親子を対象とした子どもの体力向上支援事業を実施します。
- ④ 公民館や学校と連携し、地区の運動会や学校の行事に併せて、体力測定を実施します。

(4) 高齢期(65歳～)のスポーツ・運動の推進

【現状】

津和野町の高齢化率(65歳以上の人口比率)は、平成27年4月末現在44.4%と、年々増加傾向にあります。

グラウンド・ゴルフやウォーキングなど、元気に活動されている人が多く、日頃スポーツ活動・運動を行っている人は、青年期・壮年期に比べて多いことがアンケート結果からも分かります。

「スポーツ活動・運動をする理由」で最も多かった回答は、「健康づくり」でした。また、「しない理由」で最も多かった回答は、60代は「仕事が忙しい」、70代以上は「年を取った」でした。

スポーツ大会等へ参加できなくても、大会役員としての協力等の支援活動を通して、スポーツ活動を支える喜びを感じ、生きがいとしてもらうことができますが、スポーツ活動・運動に関するボランティアへの関心は高くありません。

○スポーツ活動・運動に関するアンケート結果

項目	60代・男性	60代・女性	70代～・男性	70代～・女性
日ごろスポーツ・運動を行う	44.4%	41.2%	70%	57.9%
スポーツ・運動を行うことが好き	66.6%	70.6%	60%	79%
スポーツを観ることが好き	88.9%	76.5%	80%	94.8%
スポーツ・運動をする理由	健康づくり	健康づくり	健康づくり	健康づくり 友人との交流
スポーツ・運動をしない理由	仕事が忙しい	仕事が忙しい	体が弱い 年を取った	年を取った
スポーツ・運動に関するボランティアを行いたい	22.2%	5.9%	20%	10.5%

注. スポーツ・運動をする・しない理由は最多回答を記載

【課題】

高齢者が気軽に参加できるスポーツ活動・運動の場を提供することが必要です。スポーツ大会等への協力を通して、スポーツ活動・運動に関するボランティアへの関心を高め、「支える」スポーツについて理解してもらうことが課題です。

【具体的な施策】

- ① 高齢者を対象とした健康教室やスポーツ大会を開催します。
- ② 公民館や学校と連携し、地区の運動会や学校の行事に併せて、体力測定を実施します。
- ③ 高齢者でも比較的参加しやすいウォーキング等への参加を促します。

2 地域と連携したスポーツ活動の推進

(1) 体育協会・スポーツ少年団等関係団体との連携

【現状】

津和野町体育協会には、平成26年度現在、24団体が所属しており、それぞれが大会や教室を実施しています。※1

畑迫・木部・小川地区には、それぞれ地区体育連盟があり、運動会や各種スポーツを行っています。特に小川地区は、総合型地域スポーツクラブを取り入れ、活動を行っています。

津和野町スポーツ少年団には、平成27年度現在、7団体、66人の小・中学生が登録しており、それぞれの競技に取り組んでいます。24年度と比べて、小学校4年生～6年生では加入率が上がっているものの、全体としては下がっています。

各公民館においては、健康を守る会や自治会等と連携し、健康ウォークやグラウンド・ゴルフ大会等のスポーツ活動・運動を実施しています。

アンケート結果より、今後行ってみたいスポーツにおいて、10代～30代までは、激しい動きを伴うスポーツが多く、40代以降はウォーキングやジョギング、グラウンド・ゴルフといった緩やかな動きのスポーツが多いことがわかります。また、全年代を通して最も多かった回答は、ウォーキング・ジョギングで、次にグラウンド・ゴルフ、水泳、テニス、バドミントンと続きます。

○スポーツ活動・運動に関するアンケート結果

・今後行ってみたいスポーツ

10～20代・男性	10～20代・女性	30代・男性	30代・女性	40代・男性	40代・女性
サッカー	テニス	野球	テニス ウォーキング・ジョギング	テニス、カヌー グラウンド・ゴルフ スノーボード	ウォーキング・ジョギング

50代・男性	50代・女性	60代・男性	60代・女性	70代～・男性	70代～・女性
グラウンド・ゴルフ ウォーキング・ジョギング	ウォーキング・ジョギング	ソフトボール ラージボール卓球 グラウンド・ゴルフ ウォーキング・ジョギング	グラウンド・ゴルフ	ウォーキング・ジョギング	グラウンド・ゴルフ

注. 最多回答を記載

※1 資料編17ページ参照

○平成27年度 津和野町スポーツ少年団登録状況

		団員											指導者			
		～小3			小4～小6			中学生			合計					
		男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
津和野少年野球	24年度	3		3	9	2	11			0	12	2	14	2		2
	27年度		1	1	9	3	12			0	9	4	13	2		2
津和野MBC	24年度	4	2	6	3	3	6			0	7	5	12	1	1	2
	27年度	3		3	9		9			0	12		12	1	1	2
津和野柔道	24年度	2	1	3	2		2	1	1	2	5	2	7	4	1	5
	27年度	2	1	3	2	1	3	1		1	5	2	7	6	1	7
津和野剣道	24年度			0	1		1			0	1		1	2		2
	27年度			0	1		1			0	1		1	2		2
日原サッカー	24年度			0	11		11			0	11		11	2		2
	27年度	2	1	3	4	1	5	7		7	13	2	15	6		6
日原少年剣友会	24年度	2		2	1	1	2			0	3	1	4	1		1
	27年度	1		1	2	2	4			0	3	2	5	2		2
日原バスケットボール	24年度		3	3		6	6		11	11		20	20	3		3
	27年度		4	4		9	9			0		13	13	2	1	3
木部スポーツ(剣道)	24年度	2		2	2	1	3			0	4	1	5	2		2
	27年度	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/
日原スポーツ(野球)	24年度			0	9		9			0	9		9	1		1
	27年度	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/
合計(団登録人数)	24年度	13	6	19	38	13	51	1	12	13	52	31	83	18	2	20
	27年度	8	7	15	27	16	43	8	0	8	43	23	66	21	3	24
合計(児童・生徒数)	24年度	63	50	113	79	71	150	93	86	179	235	207	442	/	/	/
	27年度	69	62	131	62	56	118	82	69	151	213	187	400	/	/	/
加入率(%)	24年度			16.8			34			7.3			18.8	/	/	/
	27年度			11.5			36.4			5.3			16.5	/	/	/

【課題】

アンケート結果から、「今後行ってみたいスポーツ」について、「グラウンド・ゴルフ」や「テニス」といった津和野町体育協会の各連盟で活動しているスポーツも多いが、体育協会の各連盟が日頃どのような活動をしているか、また事務局が誰かといった情報提供が不足しています。

スポーツ少年団は、少子化に伴い、団の数も登録人数も減少しており、団員の確保が課題となっています。

総合型スポーツクラブは、これまで小川地区以外の他の地区へも説明や呼びかけを行ってきましたが、設立までには至っておりません。総合型スポーツクラブが効果的に活用できるのかどうか、地区の状況を見ながら検討していく必要があります。

【具体的な施策】

- ① 体育協会と協力することで、さらなるスポーツ活動の普及に繋がります。
- ② 津和野町内の各スポーツ団体の情報を広報誌やケーブル・テロップ等を使って発信していきます。
- ③ 小学校へ各団のチラシを配布するなど、スポーツ少年団の活動を支援し、加入促進を図ります。
- ④ 総合型地域スポーツクラブについて、既存のクラブへは情報提供などの支援を行うと共に、他の地区で要望があれば、設立に向けて検討していきます。

(2) スポーツ指導者の養成と資質向上

【現状】

津和野町スポーツ推進委員は、平成27年度現在、12人が各地域でスポーツ指導や援助を行っています。町の体育行事への協力、町内保育施設での運動あそびの指導など、活動の幅は年々広がってきています。

津和野町スポーツ少年団の指導者として、平成27年度現在、24人が登録を行っており、各団においてスポーツ指導を行っています。また、平成27年度より、各団において、中心的指導者としての役割を担う認定員資格を2人以上が取得することとなったため、組織の強化が期待されます。

中学校の運動部活動において、地域スポーツ指導者を外部指導者として活用し、競技力向上を図っています。

【課題】

スポーツ推進委員の活動は広がってきていますが、限られた人数で進めていくには限界があるため、他の指導者と結び付けるコーディネーターとしての役割が求められています。

各競技において、審判員や指導者が不足していることも課題です。例えば、毎年開催している鹿足郡陸上競技大会も公認審判員の不足により、郡内のみの審判員では公認大会が成立しないため、郡外へも審判派遣を依頼しています。今後、各競技で審判員や中心となる指導者の確保が必要となってきます。

【具体的な施策】

- ① スポーツ指導者に対して、研修会を開催します。
- ② スポーツ推進委員の事業の取りまとめや情報提供など、活動を支援します。
- ③ 審判員やスポーツ少年団の認定員の登録を促します。

(3) 障がい者スポーツの推進

【現状】

障がい者が参加するスポーツ活動については、社会福祉協議会が主体となって実施していますが、一般のスポーツ関係団体との連携は見られません。また、教育委員会との連携体制もできていません。

健全者と障がい者が一緒に参加できる「障がい者スポーツ」の推進が求められていますが、津和野町では保育園の年長児と一緒に、年に1回運動会を行っているのみで、その他の活動は行っておりません。

【課題】

これまで健全者と障がい者が一緒にスポーツ活動をする機会がありませんでしたが、今後関係団体にスポーツ推進委員等が関わり、一緒にスポーツ活動をしていけるような体制づくりが必要です。

県内で障がい者スポーツに関する研修会は開催されていますが、津和野町内での研修会はこれまで開催されておられません。今後、各関係団体と連携し、研修会の開催に向けて検討していく必要があります。

障がいのある人もない人も一緒にスポーツを楽しもうとする意識の醸成が必要です。また、障がい者スポーツについて理解し、広げていくことが大切になってきます。

【具体的な施策】

- ① スポーツ推進委員を中心に、関係団体と一緒にスポーツ活動を行うことを促します。
- ② 障がい者スポーツについて、研修会を開催します。
- ③ 社会福祉協議会と連携し、障がい者スポーツの実施に向けて進めていきます。

3 スポーツ活動における施設の活用

(1) 学校体育施設の活用

【現状】

町内の全学校で、学校体育施設を開放しており、町民のスポーツ活動・運動の場として活用されています。

学校別に見ると、利用日数や人数が増加している学校が多く、文化活動での使用もあることから、学校体育施設開放へのニーズの高まりが伺えます。

スポーツ少年団や各体育連盟も定期的に利用しており、町民のスポーツ活動・運動の場として定着しています。

左鐙小学校のグラウンドのみ芝生化されており、他の学校・保育施設については、グラウンドの芝生化は行われておりません。

○津和野町内学校体育施設開放状況

学校	項目	平成24年度	平成25年度	平成26年度
青原小学校	延べ日数	改築のためなし	9日	18日
	延べ利用者数	改築のためなし	150人	380人
木部小学校	延べ日数	42日	42日	42日
	延べ利用者数	210人	210人	126人
左鐙小学校	延べ日数	155日	157日	186日
	延べ利用者数	1,910人	1,924人	2,036人
津和野小学校	延べ日数	359日	359日	360日
	延べ利用者数	5,940人	5,990人	6,060人
日原小学校	延べ日数	261日	224日	226日
	延べ利用者数	4,323人	3,532人	3,108人
津和野中学校	延べ日数	26日	28日	42日
	延べ利用者数	208人	280人	630人
日原中学校	延べ日数	36日	36日	36日
	延べ利用者数	540人	540人	540人
津和野高校	延べ日数	2日	3日	4日
	延べ利用者数	200人	490人	530人
合計	延べ日数	881日	858日	854日
	延べ利用者数	13,331人	13,116人	13,410人

【課題】

利用団体の増加に伴い、学校行事や利用希望団体同士の日程調整が難しくなっている学校もあります。

老朽化により排水の良くないグラウンドがあるため、施設の環境整備をしていく必要があります。

勤務時間内に施設の鍵を取りに来たり、使用后きちんと整備するなど、利用者側のマナーの徹底を今後も続けていくことが大切です。

グラウンドの芝生化は、転んでも怪我をしにくいことや、夏の温度上昇を抑制できたりとメリットがありますが、管理の問題や芝生があることで支障をきたすスポーツや活動もあるなど課題も多くあります。また、整備については、学校教育の中だけで行うには限界があるため、地域の方の協力が不可欠となってきます。

【具体的な施策】

- ① 学校体育施設開放を引き続き実施し、町民のスポーツ活動・運動の場として活用します。
- ② 屋外施設環境整備を行っていきます。
- ③ 施設の利用については、施設の使用申請時に使用マナーを周知し、さらなるマナーの向上を図ります。
- ④ グラウンドの芝生化については、学校や地域と相談しながら検討していきます。

(2) 社会体育施設の活用

【現状】

町内には運動広場や体育館等の社会体育施設が、町民のスポーツ振興を目的として設置されており、スポーツ教室や各種大会等で利用されています。※2

アンケートより、「スポーツ活動・運動を行う場所」として、「町内施設」と回答した人は、全体の34.5%で最も多い回答でした。続いて、「野外」が27.6%、「町外施設」が8.6%となっており、概ね町内施設か野外でスポーツ活動・運動を行っていることが分かります。

「今後行ってみたいスポーツ」で「水泳」の回答が多くありましたが、津和野町には温水プールがないため、夏場の利用に限られています。

施設の利用については、電話または窓口申請で対応しており、インターネットでの受付は行っていません。

【課題】

旧学校体育館や校庭などの施設について、今後も地域で有効活用していく必要があります。

耐震工事を行っていない施設もあり、誰もが安心・安全に施設を利用するためにも、耐震補強やバリアフリー等の改修を実施する必要があります。

プール利用者のニーズに合わせて、温水プールなど環境整備を検討する必要があります。

現在、施設の予約状況は、電話か直接確認をしなければ分からないため、施設の管理者が不在の場合には確認ができない状況です。今後、いつでもどこでも確認ができる体制づくりが必要になってきます。

【具体的な施策】

- ① スポーツ教室やイベントについて情報提供を行い、施設の利用を促します。
- ② 旧学校体育館や校庭などの施設について、今後も地域で活用していけるよう促します。
- ③ 耐震基準を満たしていない施設については、随時耐震補強工事を実施し、設備等についても点検・改修を実施します。
- ④ プール利用者のニーズに合わせて、温水プールの建設などを検討していきます。
- ⑤ 利用状況がいつでもどこでも確認できるように、インターネットの活用を検討していきます。

※2 資料編18、19ページ参照

Ⅲ 資料編

平成26年度 津和野町体育協会状況

団体・連盟	会員数(21年度)	会員数(26年度)	町大会の有無	教室の有無
陸上競技	40	15	なし	なし
野球	115	90	なし	なし
バレーボール	不明	5クラブ	なし	○
弓道	27	20	○	○
剣道	16	20	○	○
卓球	33	9	○	なし
テニス	10	20	なし	○
柔道	8	5	なし	○
バドミントン	15	14	なし	○
ゲートボール	95	61	○	○
サッカー	19	8	○	○
カヌー	18	15	○	○
自然の会	46	46	なし	なし
バウンドテニス	15	11	なし	○
バスケットボール	不明	5	なし	○
サイクリング	18	14	なし	○
女子ソフトボール	11	22	○	○
スキー	9	12	なし	○
グラウンド・ゴルフ	175	233	○	○
フットサル	14	23	なし	○
ラージボール卓球	不明	19	なし	○
畑迫体育				
木部体育				
小川体育				

津和野町公共スポーツ施設設置状況

種 別	施 設 名	所 在 地	連 絡 先
運動広場	津和野運動広場	田二穂 42	72-2070
運動広場	木ノ口運動広場	枕瀬 427-1	74-0302
屋外プール	日原プール	日原 536-1	74-0302
体育館	津和野体育館	後田口 66 乙	72-2070
体育館	小川体育館	寺田 64	72-0445
体育館	日原体育館	日原 573-1	74-0302
体育館・運動広場	畑迫運動場	部栄 375	72-2119
体育館・運動広場	須川運動場	相撲ヶ原 40	74-0711
体育館・運動広場	旧木部中学校体育館・運動場	中川 405	73-0001
体育館・運動広場	名賀地域センター	名賀 860	72-1854
体育館・運動広場 庭球（屋外）	日原特定公園	池村 2863-2	74-1253
庭球（屋外）	津和野テニスコート	田二穂 42	72-2070
弓道場	木部公民館弓道場	中川 416	72-1854
弓道場	左鐙弓道場	左鐙 905	74-0302
グラウンド・ゴルフ場	津和野町グラウンド・ゴルフ場	池村 1997-1	74-2045
グラウンド・ゴルフ場	道の駅津和野温泉なごみの里グラ ウンド・ゴルフ場	鷲原イ 275	72-4122
キャンプ場	枕瀬山森林公園	枕瀬 816-8	74-1143

平成 2 8 年 1 月現在

津和野町公共スポーツ施設利用状況

施設名	項目	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度
津和野運動広場	延べ日数	237 日	220 日	87 日
	延べ利用者数	2,075 人	1,575 人	443 人
木ノ口運動広場	延べ日数	64 日	64 日	64 日
	延べ利用者数	640 人	640 人	640 人
日原プール	延べ日数	37 日	33 日	37 日
	延べ利用者数	819 人	819 人	811 人
津和野体育館	延べ日数	333 日	332 日	325 日
	延べ利用者数 (件数)	481 件	483 件	489 件
小川体育館	延べ日数	268 日	251 日	276 日
	延べ利用者数	5,873 人	6,728 人	7,954 人
日原体育館	延べ日数	293 日	272 日	251 日
	延べ利用者数	4,278 人	3,852 人	3,746 人
畑迫運動場	延べ日数	190 日	225 日	232 日
	延べ利用者数	2,336 人	2,589 人	2,620 人
須川運動場	延べ日数	69 日	58 日	42 日
	延べ利用者数	1,128 人	1,100 人	741 人
旧木部中学校体育館・運動場	延べ日数	19 日	19 日	91 日
	延べ利用者数	550 人	530 人	1,300 人
名賀地域センター	延べ日数	10 日	11 日	9 日
	延べ利用者数	216 人	253 人	179 人
日原特定公園	延べ日数	145 日	145 日	100 日
	延べ利用者数	295 人	506 人	1,229 人
津和野テニスコート	延べ日数	133 日	139 日	160 日
	延べ利用者数	1,720 人	1,636 人	1,746 人
木部公民館弓道場	延べ日数	42 日	43 日	42 日
	延べ利用者数	169 人	172 人	167 人
左鐙弓道場	延べ日数	34 日	34 日	34 日
	延べ利用者数	225 人	225 人	225 人
津和野町グラウンド・ゴルフ場	延べ日数	/	272 日	297 日
	延べ利用者数	/	4,454 人	7,969 人
なごみの里グラウンド・ゴルフ場	延べ日数	/	/	/
	延べ利用者数	/	/	/
枕瀬山森林公園	延べ日数	168 日	165 日	168 日
	延べ利用者数	335 人	233 人	215 人

津和野町スポーツ推進計画策定委員会委員名簿

委員会役職	職	氏 名
委員長	津和野町体育協会会長	滝元 三郎
副委員長	津和野町スポーツ推進委員の会会長	有田 キミ子
委員	スポーツ少年団本部長	山内 裕輝
委員	青原小学校長	藤井 寛巳
委員	津和野中学校長	倉橋 宏明
委員	津和野高等学校長	宮本 善行
委員	津和野小学校教諭	岡野 昇
委員	日原中学校教諭	田邊 知也
委員	津和野高等学校体育教諭	松林 純暉
委員	日原保育園長	和崎八恵子
委員	津和野幼花園園長	渡部 麗子

津和野町スポーツ推進計画策定経過

<策定委員会>

- 第1回 平成27年 6月16日(火) 15:00～
- 第2回 平成27年 8月26日(水) 15:00～
- 第3回 平成27年11月12日(木) 13:30～
- 第4回 平成27年12月22日(火) 13:30～
- 第5回 平成28年 1月21日(木) 13:30～
- 第6回 平成28年 2月24日(水) 10:00～